

82 やながわ
柳川

(福岡県柳川市)

注目ポイント！

水辺空間を活かしたまちづくりにより、国際的な観光地へ。
地域の歴史・文化を最大限に活かした観光地づくり。

観光客数が約90万人から約120万人台に復活！
(平成6年) (平成17年)



流し雛祭り

コラム

平成6年に柳川地方は、大旱魃に見舞われ、名物の川下りが中止になる事態になった。それまで、年間120万人の観光客が90万人台に激減し、観光産業として大打撃を受けた。

このため、柳川市と柳川市観光協会、柳川商工会議所が一丸となって、郷土の伝統的文化である「さげもん」に着目し、「柳川雛祭りさげもんめぐり」のイベントを平成7年から始めた。これにより観光客は年々増加し平成17年度には年間120万人に復活した。

これまでの経緯

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 昭和52年(1977) | 荒廃した掘割再生のため河川浄化事業に着手する。 |
| 昭和53年(1978) | 伝統的文化都市環境保存地区整備事業を実施する。 |
| 昭和56年(1981) | 水辺の散歩道の整備に着手。 |
| 平成7年(1995) | 柳川雛祭り「さげもんめぐり」を開始。 |
| 平成8年(1996) | ソーラーボート競技会を開始。 |
| 平成16年(2004) | 道守柳川ネットワークが発足。 |
| 平成17年(2005) | 観光情報センターを設立。 |

当該地域は「わたしの旅100選」(平成17年)として選定されたプランに含まれています。

主な取り組み

掘割再生

高度経済成長以降、掘割はゴミ捨て場と化し異臭を漂わすドブ川となったが、柳川市が主体となって掘割再生に奔走、市民も美しい掘割を取り戻そうと立ち上がり、清掃活動に取り組んだ。結果、全国的に知られる川下りができるまでに再生され、「河川浄化計画」の作成、「掘割を守り育てる条例」を制定し、官民一体で水路清掃や水辺の環境保全に努めている。



清掃作業

柳川市観光情報センター

観光客への休憩サービス提供と観光情報の発信拠点として、平成17年に整備。同センターは、雛祭りの伝統的な飾りとして伝わる「さげもん」の紹介や体験ができる施設、「柳川雛祭りさげもんめぐり」の拠点会場としても活用し、期間中7万人の来場者で賑わった。また、外国との交流窓口として、歴史・文化を紹介する機能を高め、多言語通訳サービスも備えていることから、多くの外国人旅行者も訪れている。



観光情報センター

ソーラーボート大会

掘割を活かし、水辺環境保全意識の向上と太陽電池の利用促進を図るため、「ソーラーボート」の競技会を平成8年から継続して開催。毎年参加者も増え、水上綱引き等のイベントも盛り上がっている。平成18年からは行政主体の実行委員会を解散し、民間主体の団体へと移行し、柔軟で独創性のある活動が行われる。



ソーラーボート大会

掘割ウォーキング

水郷柳川まち歩きの実便性向上のため、水辺の散歩道を整備し、点在する観光資源を結びつけ、掘割ウォークなど、安心して、しかも楽しく歩けるイベントを開催。掘割ウォーキングでは、ドンコ舟が行き交う赤煉瓦の並倉などを見ながら、行政が行う「てくてくサポーター」活動に取り組むサポーターの設定したコースを歩く。



掘割ウォーク

問い合わせ先

柳川市観光まちづくり課

Tel : 0944 - 73 - 8111

<http://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/>